

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和4年6月8日(水)  
13時01分開会 14時00分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：口田邦男 副委員長：山下清美  
委 員：深沼達生、川上 均、中河つる子、高橋政悦  
議 長：桜井崇裕
- 4 事務局 事務局長：田本尚彦
- 5 議 件
  - (1) 請願の審査について
  - (2) 所管事務調査の申し出について
  - (3) 所管事務調査の実施について
  - (4) その他
- 4 会議録 別紙のとおり

委員長（口田邦男）：只今より厚生文教常任委員会を開催する。まず、請願についてお願いしたいと思う。この請願については川上議員が紹介議員になっているが、昨年も同様の請願が提出されており採択されている。請願内容について、各委員の見解等を確認して委員会として採択あるいは不採択の結審をする予定であるのでご意見をいただく。

（1）請願の審査について

深沼委員：委員長が言われたように昨年と同様の内容なのかと思っている。これでよろしいかと思う。

中河委員：私もよろしいと思う。

高橋委員：昨年同様採択することいいと思う。

川上委員：よろしくお願ひしたい。

山下委員：昨年も請願を受けて意見書を提出したが、今年度においても現状変わらずということと同様に意見書を出す必要があると感じ採択と考える。

委員長：今、皆さんにご意見をいただいて、全員が採択ということであるので、この請願については本委員会としては採択ということによいか。

（「はい」の声あり）

委員長：それでは採択とする。意見書の内容であるが、原案をお配りするので検討をお願いする。

局長（田本尚彦）：只今2枚の資料をお配りした。片方については令和3年度の意見書、一部修正ありと書いてある。何も書いてないのが今年、請願に添付されてきた意見書の案である。昨年の意見書の中身と変わっている箇所について確認していただきたいと思う。本文の3段目、さらに小学校高学年のという書き出しの部分があるが、こちらの部分が去年と変わって追加になっている。さらに、小学校高学年の教科担任制および小学校における35人学級実現のための教職員定数に対し、自然減や配置の見直し等により減少となっており、という状況の説明があるが、去年の方では下から4行目あたり、また、実現のための教員については、これまで加配として各自治体に措置されていた人数を基礎定数化するもので、というところで状況説明が若干違うところが出てきている。それから、その文章の下のところであるが、去年については30人以下学級を実現しと書いてあるところ、その次に、実質的な教職員増という表現があるが、実質的なという言葉がないということで、教職員を増やしていく必要がありますということで直接的な表現を今年の分については行っている。その次の段、2021年のところ、この部分が2021年3月の数値として全国で14.71%、北海道においての数値が19.10%、と書いてあるがデータが更新されており2021年12月に全国で14.52%、北海道については18.30%ということで、現状の説明についての記述が新しく変えられているところである。あとについては同じであるが、昨年は委員会の中で網掛けの部分、上から5行目、実質的な教職員増の後に及び資質向上という文言を委員会の中で加筆をするべきだということで昨年は加筆をして意見書を完成させたところである。以上が去年の確認した意見書と今年の意見書案の内容の違いのところの説明とさせていただきます。

委員長：ちょっと一読をお願いする。去年と同じで網掛け部分の加筆でよいか。

川上委員：若干文言の説明の文章は変わっているが、実質的な内容については変わらないのでよ

ろしくお願ひしたいということと、資質向上の点については昨年高橋委員に言われた内容であるので、今回付け加えていただいてもやぶさかでないと思うので私の意見としたいと思う。

高橋委員：去年見逃したのかもしれないが、そのちょっと前段の地域の特性にあった教育環境整備に対して住む地域に関係なくという文章があるが、ちょっと言っていることが曖昧な感じがして、やめた方がいいかなという気もする。全国一律やりなさいというような言い方も変だなという気もするのだが、内容としてはそのくらいである。

川上委員：この点については基本的にはやはり地域の特性にあった部分だと思うが、そういうことを重点的にしながらも最低限の教育の保障も地域に関係なく、日本全国どこでも最低限のことはやりながら、なおかつ付加価値として地域の特性に合ったものということで理解いただきたいと思う。文章の表現の仕方が一律で上から降りてきた内容であったのでこのようになってはいるが、主旨としてはそのような内容であるのでご理解いただきたいと思う。

高橋委員：主旨はよくわかるけれども、前と後ろでちょっと曖昧感、反対のことを言っているのではないかと思うので、結局そこがなくとも子供たちの教育を保護するために、十分通じる話だと思う。あってもいいがそんな気がただけである。

深沼委員：このままでもいいのではと思う。

山下委員：昨年と同様に網掛けの部分は追加する。また、読んでみると高橋委員の話した部分がちょっと気になるなというところがある。その部分がなくても十分通じるという気はする。地域の特性にあった教育環境整備・教育活動の推進、子供たちの教育を保障する、という部分では十分つながるという気がする。

委員長：それでは、今意見を聞いたがこの中の、住む地域に関係なくという文言を削除して、昨年の網掛けの部分を加えるということではいかがか。

(「異議なし」の声あり)

## (2) 所管事務調査の申し出について

委員長：それではそのように修正を加えて意見書を提出いたします。次に所管事務調査の申し出についてであるが、9月定例会までの所管事務調査については、道外行政視察の項目を調査申し出事項とするということによろしいか。

(「はい」の声あり)

## (3) 所管事務調査の実施について

委員長：それと、突発的な事項に対応するため他所管に関する事項についての申し出も行うということで行う。次に所管事務調査の実施について、道外行政視察訪問先での各委員の質問事項の確認を行うということである。これについて事務局説明をお願いする。

局長：お手元に色々と資料をお配りしているので、まず資料の確認をしたいと思う。厚生文教常任委員会会議録粗原稿ということで、5月18日に社会教育課、子育て支援課に対して行った調査の発言の内容を音声から落としたもの、まだ詳細のチェックをしていないが、おこしたものを添付させていただいた。この内容の中で今回の視察につながるような発言項目等をピックアップしていただければと思う資料である。次に社会教育課から追加資料ということで指定管理者の基本協定の中の抜粋、それから令和4年度の事業計画等

の資料をいただいている。この冊子のページの表から4ページ目になるが3番スポーツ振興合宿等の課題というところがあり、この部分がうちの施設で課題となっている部分などがあれば、視察先の方でどのように解決しているか聞いてみるという話があって、実際に合宿等を含めて指定管理者側との協議で出てきた意見と現状について書いてある。上の方は実際の数値的なもの北海道全体のことを説明しており、このページの半分から下、本町の体育館等でのというところの部分が具体的に本町での課題というところで記載をしたと報告を受けている。そしてこのページの後の方には事業計画、人員配置計画の写し、それから後ろの方には北海道スポーツ合宿実態調査の概要ということで道でまとめた調査の報告、データ等の集計の資料がついている。次に厚生文教常任委員会視察研修日程表ということで移動等の詳細、宿泊先等の確認がとれてきたので前回の資料に加筆する形でお配りしている。2ページ、3ページのところに上富田町、それから豊橋市の調査に係り、既に相手自治体の方に視察の申し込みをした時にこちらの方からどういった内容を伺いたいとか提示している内容である。今日のご意見でまとめていただく質問事項については視察先にいる時に、質疑応答でそれぞれの委員から1問ずつになるかと思うが、向こうの自治体に対して質問をぶつけていただくところを今日の委員会を出し合って、重複がないように整理をした方がいいだろうということで前回お話しがあり、今日の委員会の中でそういったものをすり合わせていただきたいというところである。そして、1枚ものが2枚ある。質問事項の確認を記録していただいて当日お持ちいただくというふうに考えている。最後に豊橋市の状況ということで冊子をつけている。これは豊橋市の議会事務局の方で、視察に来訪した団体に対して豊橋市議会の状況、それから町の一般的な現況というものを資料として提供しているものということで、事前にデータをいただいたので皆さんにお配りしている。お配りした資料については以上である。豊橋市の方からは視察の申し込みをした冒頭から質問事項も事前にご覧いただきたいということで受けているので、今日固まればさっそく豊橋市の方にこういった質問をしたいということで準備をしていただくことになると思う。あとは前回の所管事務調査の時にお配りしたそれぞれの団体の資料等を参考にしながら質問事項等を協議いただきたいと思う。

委員長：まず豊橋市の方から整理する。

川上委員：豊橋市のハーモニープランというのがあるが、今年2022年に計画期間が終わるということで、この計画に対する取り組みについて、その中の課題やなんかについて聞きたい。ファミリーサポートセンターの状況、今後どのように取り組んでいくかというのも併せて聞きたい。

深沼委員：妊娠期から子育て期に渡るママ&チャイルドサポートの中で産後ケアということで宿泊型、デイサービス型の家事、育児支援とあるがどういったことをやっているのかという部分と、子供預かり事業の部分で子供が病気したときに見てもらえるところがあるみたいだがその内容を確認したい。

中河委員：放課後児童クラブ体験活動の中身をどのようにして運営しているかというところ。それと、障がい児の生活能力向上のための支援はどのようになされているかを確認したい。

高橋委員：育ナビの運営サイトの中でいろいろな事をやっているみたいだけれども、管理というか、外注かけているものなのか市役所の内部でやっているものなのか、それを続けていくうえでどんな障害があるのかを聞きたいのと、これに付随して公式のLINEアカウントを作っているみたいだが、つど都度やり取りが発生すると思うが、どんな部署でどんな対応を行っているのかというのをも具体的に聞きたい。もしそれが簡単でできそうな雰囲気であれば清水でも当然導入できる話だし、そういうのを参考に清水に持ってこれればと考えている。

山下委員：今回特に男女の参加という部分で女性の活躍の関連、男性の育児参加、これらについて

で聞きたい。具体的な部分は聞きながら質問するしかないかと思っていた。

委員長：今出てきたものを申し入れします。当日も質問が重複しないようにいきたいと思うので、よろしく願います。次は上富田町のスポーツ振興によるまちづくりについてということで質問事項をあげていただきたい。

山下委員：財政的に厳しい中でどう選別してスポーツに特化した取り組みをしたか、町民の理解を得ながら、これについてはできないというものもあると思う。そういった部分について大変なところがなかったか。スポーツのために住民の方が頑張ってくれているという部分の逆の面という苦労があるのかということを知りたい。

川上委員：総合型地域スポーツクラブ、NPO法人くちくまのクラブがどのような形で運営しているのか、どういうふうに関民間から指導者に参加してもらっているのかを知りたい。

高橋委員：清水も体育館建設に向けて具体的に進む時期なので、これだけはやっておいた方がいいよというような、建設に対しての方向性というのが聞けたら、この後いろんな計画が出てくるときにプラスになっていくのではないかという気がして、その辺、ここだけ忘れないようにしないと後で負担が大きくなるというような情報があれば聞きたいと思う。

中河委員：イベント大会などに企業や住民を巻き込んでやっているというので、大事だなと思っていたのだが、楽しく巻き込んでいけるような方法、それと、専門的な知識を習得できるようなSEACAの取り組み方法、どのようにされていたのか聞きたい。

山下委員：スポーツ振興の中で特に清水町でも中学校の部活関係で、教職員の働き方改革もあり外部講師とか中学校の部活動に積極的に関わっているのかどうか、スポーツクラブだとかスポーツ振興の中で中学校の部活動との関わりをどう進めているのかを知りたい。

委員長：当日こういった内容で重複しないように質問をお願いします。あと、日程について変更あるか事務局から。

事務局：日程については当初ご案内しているものから変更は特にはない。乗り継ぎ等の詳細を見ていく中で前回作った資料で、途中の乗り換えの時間が違っていたところもあったが直しているの、今見ていただいている部分が実際の当日移動でしおりとしてお配りする内容になってくる。初日、十勝清水駅8時27分出発ということで千歳空港を経由して紀伊田辺駅まで行く。2日目午前中視察をして豊橋市まで夕方移動をして14日に午前中豊橋市の視察、そして午後には東京に移動をして最終日15日に渋沢史料館の方を見学するという予定になっているのでよろしくお願いします。宿泊場所は決まったが夕食会場等ははまだ具体的に決まっていない。基本的に十勝清水駅から出発してこの行程、戻ってくる部分まで旅費の予算の方で移動経費、宿泊経費、カバーできるように考えているので整理をしてご案内をしていきたい。

高橋委員：ちなみに初日、最終日はクールビスでいいか。

#### (4) その他

事務局：視察先にも確認をする。寒冷地から伺うのでクールビスで対応させてもらってよいかという話はしたいと思う。今後の予定で、16日の本会議一般質問の後に全員協議会をやるのご案内している。町からの申し出事項1項目と意見書案5項目の確認であるが、執行側からもう1件申し出事項を追加したいという話が昨日あった。議長と相談して16日については意見書5項目の協議をしてもらい、執行側の申し出事項を21日最終日に全員協議会を設けることにして対応することとした。総務産業常任委員会でもその旨連絡事項として報告することになっている。その後、広報広聴常任委員会がある。そして議員会の

親睦事業、パークゴルフ大会、懇親会をやるということになり、最終日に更に会議を加えるのは難しいというところ。

委員長：それではこの日程で進めたいと思うので、よろしく願います。これで全ての議件が終わったので厚生文教常任委員会を閉会する。

【閉会 14：00】